

## 認知症作業療法 活動報告 (概要)

鳥取県作業療法士会では、平成27年度より認知症対策委員会を設置し、①認知症初期集中支援チームをはじめとする認知症施策やケア会議等において作業療法士の立場から適切な助言・支援ができる人材育成、②地域・高齢者に対するケアを推進する地域の各職種と連携・協働し地域の抱える課題の検討などを推進できるチームケアリーダーの育成を目的に活動を行っている。

## 認知症研修会

平成27年度より、鳥取県地域医療介護総合確保基金事業の助成を受けながら、年3回の認知症研修会を開催。会員を中心に50～70名程度が参加、うち7～8名程度は多職種も参加。

右表6つのテーマに基づき研修会を開催し会員の受講状況を登録、修了者をリスト化。MTDLPや地域包括ケアの研修修了者リストと合わせ、事業協力の依頼に対し会員の派遣を行う体制を作っている。30年度末時点で、会員数527名中102名(前年度+13名)が6テーマ受講修了している。また、アップデート研修を28年度から毎年1回実施し、計134名の会員が受講修了している(25.4%)。

A:認知症の正しい理解  
B:認知症アセスメント  
C:認知症支援方法論  
D:家族・支援方法論  
E:認知症初期集中支援  
F:行政からの情報など



第13回認知症研修会の様子

## 認知症初期集中支援関係

平成28・29年度で国立長寿医療研究センターが開催している認知症初期集中支援チーム員研修へ県士会員を6名派遣、認知症研修会の中で伝達講習を行い、会員94名が受講済み。現在、県内19市町村のうち、8市町村で初期集中支援チームへチーム員会議を中心に会員が関与しており、一部では訪問等の実働も行っている。

## 認知症予防関係

とっとり方式認知症予防の研究開発・普及事業(実施主体:鳥取県、鳥取大学、モデル町)へ教室指導者として会員を派遣。週に1回の予防教室で認知機能を使う活動(知的活動)と運動プログラムを実施した。現在は、とっとり方式認知症予防プログラムの普及・啓発のため県内での事業所向け説明会や市民フォーラム、認知症予防専門士講座などでプログラムのデモンストレーションなどを行っている。



認知症予防専門士講座でのデモンストレーションの様子

## 認知症の人と家族の会との連携

昨年度より、若年認知症サポートセンターが行っている「若年性認知症本人と家族の集い」に会員を派遣、内容の企画・実施に携わり、本人・家族のサポートを行っている。取り組み内容を家族の会主催「本人(若年)のつどいを考え広める研修会」で報告。研修会やRUN伴なども家族の会と協力しながら開催している。



つどいの様子

## その他

市町村の介護予防事業や公民館の講座で認知症予防関連等の講師、小学校での高齢者疑似体験や車いす操作の指導、各地域の認知症施策を考える会への協力、ろうあサロンでの介護予防講座なども委員中心に行っている。



## 今後の課題と取組み

- ・6テーマ修了している会員を対象に、レベルアップのための研修会の開催や、事業協力・派遣など実働の機会を提供し、会員へフィードバックしていけるような体制作り
- ・研修会や事業への協力などを通して行政や他職種との情報交換や啓蒙活動などの実施
- ・会員の初期集中支援や認知症治療病棟、認知症予防教室などへの関与の把握、実態調査
- ・家族支援や地域づくり、地域ケア会議、自動車運転など、認知症関連の地域課題の取組みへの参入